

鳥取



# 絵葉書のはなし

鳥取



大正中期～昭和初期頃 絵葉書「鳥取」の包紙より

鳥取県立公文書館  
Tottori Prefectural Archives

# 鳥取市内にあった絵葉書店

「日露戦役記念絵葉書」により、絵葉書ブームが起きた明治の終わり、鳥取市内にも絵葉書を取り扱う店が出始めました。



『鳥取案内』（明治45年6月再版）より作成



**森商店**

鳥取市を代表する絵葉書店。



**山縣写真館**

森商店と並ぶ鳥取市  
二大絵葉書店。現在  
も写真館として若桜  
街道に店を構える。



**ローズ商会**

主に美術絵葉書  
を扱っていた。



**三省堂**

# タトウと包紙

タトウとは、和服や帯などを包む厚手の和紙で、  
<sup>たとうがみ</sup>畳紙ともいいます。

絵葉書は、複数枚をセットにしているものが多い  
ため、専用のタトウや包紙におさめられました。  
意匠をこらしたものも多く、特産の因州和紙を使った  
ものもあります。



池田慶徳卿御贈位 池田仲博候御来鳥  
記念絵葉書

明治40（1907）年発行

旧鳥取藩主池田家の家紋「揚羽蝶」  
が描かれています。



山陰鉄道開通式記念絵葉書

明治45（1912）年6月発行

明治45年6月1日、山陰線全線  
開通式が盛大に挙行されました。  
その時に配られた絵葉書で、鳥  
取市発行です。

## 豆知識

絵葉書には「記念」だけではなく、「記念」と書かれて  
いることがあります。「記念」には形見の意味があり、  
これを避けるため、「記念」が使われていました。

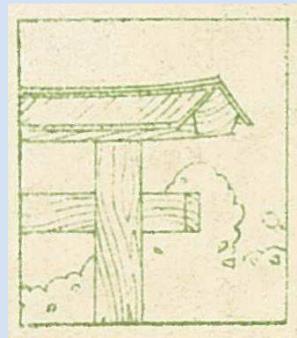
# 切手の貼付欄いろいろ

上に切手を貼るのが惜しいような、  
しゃれたデザインが目を引きます。



ポスト

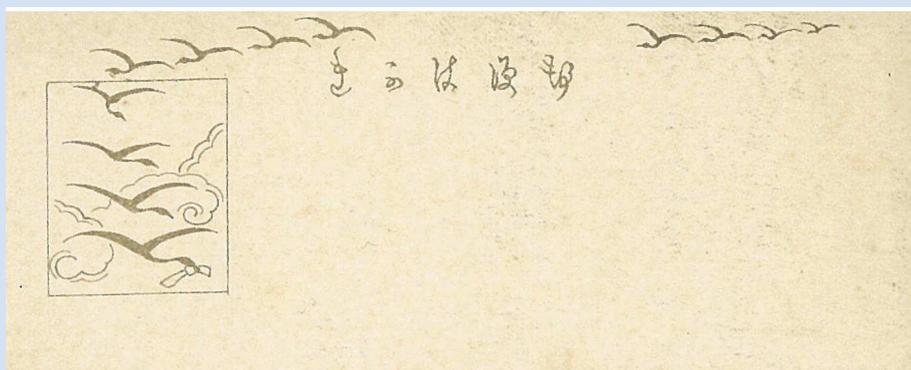
明治末期～大正中期頃



神社の鳥居

名和神社の絵葉書の切手貼り付け欄

明治末期～大正中期頃



葉書を届けてくれます

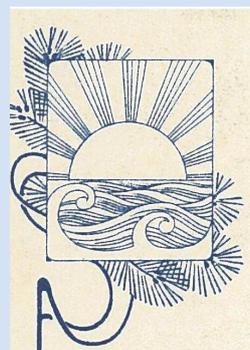
明治末期～大正中期頃



波に千鳥

大正中期～昭和初期頃

◀親しまれる柄  
と  
おめでたい柄▶



松に鶴

大正中期～昭和初期頃

# 印刷様式の移り変わり

大正7年  
〜  
昭和20年

大正7 (1918) 年3月

〜

昭和8 (1933) 年2月

通信欄が2分の1に  
なりました。

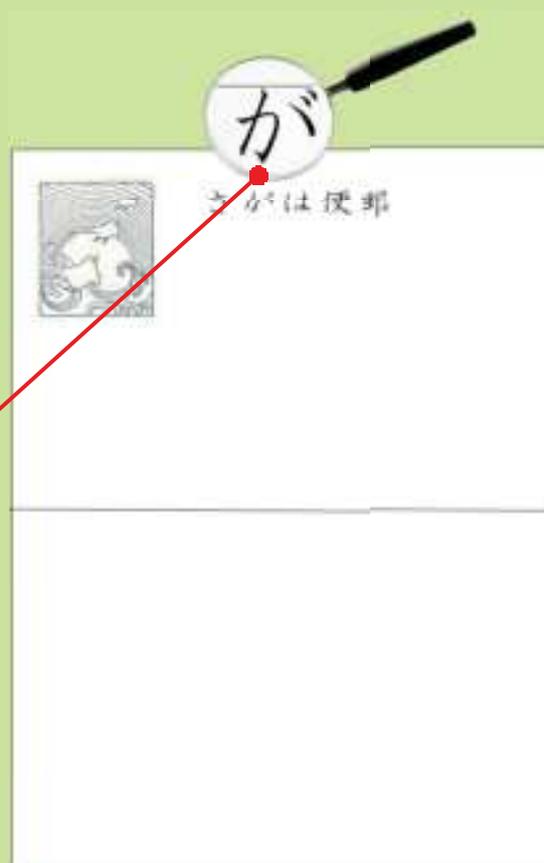


昭和8 (1933) 年2月

〜

昭和20年8月

「はかき」から  
「はがき」の表  
記になりました。



# 印刷様式の移り変わり

明治33年  
↳  
大正7年

明治33 (1900) 年10月

↳

明治40年3月

通信欄はなく、規則上、文章は空いた部分に書いていました。中には裏面絵の部分に書かれたものもあります。

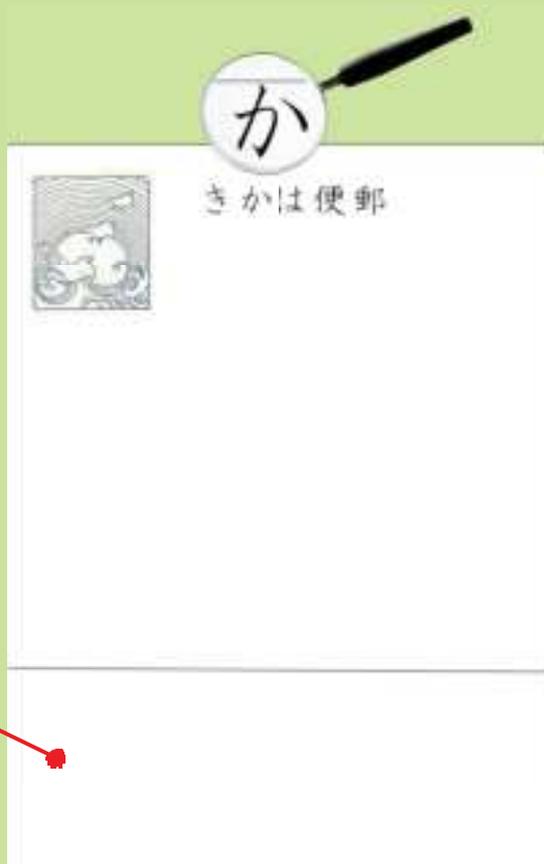


明治40 (1907) 年3月

↳

大正 7 (1918) 年2月

下3分の1に通信欄が  
つくられました。



# 「日露戦役記念絵葉書」

絵葉書ブームのきっかけとなった「日露戦役記念絵葉書」。大戦の始まった明治37（1904）年9月から39年5月まで5回にわたって発行されました。

中でも戦後に発行された最後の絵葉書は100万部も印刷されました。

明治三十七八年戦役陸軍凱旋観兵式記念絵葉書（甲之部）

明治39（1906）年4月29日／逓信省 発行

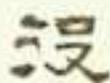


## 豆知識

隷書体の「役」が「没」に見えるものもあり、「戦没」となるため、問題になりました。



「役」



「没」

# 絵葉書のはじまり

明治6（1873）年日本初の葉書が発行されました。それから27年後の明治33（1900）年に私製葉書の発行が許可されました。これが絵葉書のはじまりです。

明治37～39年、逓信省により、日露戦争を題材にした「日露戦役記念絵葉書」が発行されると、全国的に絵葉書のブームが起こりました。

明治時代の終わりになると、鳥取市内にも絵葉書を扱う店が現れ始めました。絵や写真が印刷された絵葉書は、単なる通信手段としてだけではなく、当時の人々にとって情報源でもあり、価値のあるものだったのです。

